

第3回宮城 BHELP 標準コース 受講生募集案内

BHELP(BasicHealth Emergency Life Support for Public)とは、
「被災地での活動を効果的・効率的に実践するために災害対応における知識、共通の言語と原則を理解し、被災者の生命と健康の維持、災害発生直後からの被災地内での災害対応能力の向上に資すること」を目的とした日本災害医学会の教育コースです

日 時：2025年5月31日(土) 9時00分～16時30分
会 場：東北大学災害科学国際研究所（宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 468-1）
受講対象：医師、歯科医師、看護職、その他の医療専門職（薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、鍼灸師など）、医療機関職員、リハビリ・福祉・心理関連専門職・事務職、左記受験資格を得ることができる教育機関の学生または生徒、救急救命士、防災業務に従事する行政職、養護教諭・学校教員、医師会・看護協会職員、弁護士、その他（詳細は日本災害医学会ホームページもしくは下記コース運営責任者までお問い合わせください）
募集人数：24名 定員に達し次第申し込みを終了する場合がございます
受講料：2,000円 事前振込
* 受講採否の連絡時に振込先をご案内致します。入金確認後、受講確定となります
* 受講確定後、資料送付と受講に際してのご案内を致します
コース運営責任者：佐々木 宏之（東北大学災害科学国際研究所 災害医療国際協力分野）
連絡先：電話 022-752-2058 メール hiroyuki.sasaki.e6@tohoku.ac.jp

【コース概要】

軸は CSCA**HHH**：**H**Healthcare Triage（ヘルスケア・トリアージ）、
HHelping Hand（手を差し伸べる）
HHandover（つなぐ）

1) 講義

- ・災害医療体制の概要と医療対応の原則
- ・避難所、福祉避難所の概要、体制構築および運営上の留意点
- ・避難所の環境改善に必要な情報収集のためのアセスメントシートの活用
- ・避難所生活により生じやすい健康問題とその予防法
- ・被災地域内外の支援者との連携協力

2) 演習：講義で学習した内容を活用して、以下の演習を行います。

- ・トリアージ・保健福祉的視点によるトリアージ・CSCAを意識した対応
- ・アセスメントシートを活用した避難所の情報収集と評価・避難所のレイアウト

【申込方法】

以下のURLもしくは右のQRコードよりお申し込みください

<https://forms.gle/YGNKBVxiWK6FB9iA9>

*お申込みの際はパソコン用のメールアドレスでのご登録をお願いいたします
(携帯アドレスは不可)



【お問い合わせ】日本災害医学会 BHELP 運営委員会 jadm_bhelp@yahoo.co.jp
学会事務局では対応しておりませんのでご注意ください